

TOPICS

- ・ はしかにご用心!
- ・ 春だ!内視鏡検査に行こう!

この広報誌は、田園調布中央病院と患者さまが一体となって、病気やけがと闘うために少しでもお役に立てるよう、スタッフ一同が心をこめて皆さまへお送りする情報誌です。

診療科目

内科 (一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)
外科 (一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)
整形外科 (一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)
眼科 (一般・白内障・網膜剥離・緑内障)
泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来
形成外科・脳神経外科
予防接種(肺炎球菌・インフルエンザ・MR・麻疹・風疹・
破傷風・ムンプス・肝炎)※対象 15 歳以上
ウエルネス外来(要予約)※自由診療

受付時間

【午前】8:00~12:00 【午後】8:00~16:30

診療開始

【午前】9:00~ 【午後】14:00~

◆診療科により受付・診察時間が異なる場合がございます。詳細につきましてはお電話、受付までお問い合わせ下さい。

面会時間

11:00~20:00(面会時間は他の患者さまにご迷惑の
かからないようお守り下さい。)

医療法人社団七仁会田園調布中央病院

〒145-0071

東京都大田区田園調布 2-43-1

TEL:03(3721)7121

田園調布中央病院ホームページ

<http://denenchofu-hp.jp/>

発行:田園調布中央病院 広報委員会

病院理念

支える医療を実践する

基本方針

- ・ 救急・急性期医療に全力で取り組む事で、命を支えます。
- ・ 地域の方々と共に地域医療へ貢献する事で、地域を支えます
- ・ 疾病の早期発見・予防に努める事で、健康を支えます

患者様の権利

当院では患者様の

1. 良質で公平な医療を受ける権利
2. 医師による説明を受ける権利
3. 医療を選択し自己決定する権利
4. プライバシーを尊重される権利
5. 事故情報の開示を求める権利
6. 個人情報を守る権利

患者様の権利を尊重し安全で良質な医療の提供を行うために患者様のご協力をお願いいたします。



はしか(麻疹)が流行っていることをご存じでしょうか？

国立感染症研究所によると今年3月30日までの麻疹の患者数は231人で、昨年1年間の患者数232人とほぼ並びました。昨年同時期にくらべ3倍以上の件数に上り、さらに増加が懸念されています。また、昨年は三日はしか(風疹)が流行し、累計14,357人が報告されました。

今から半世紀前くらい前までは、はしかや三日はしかは誰でも一度はかかるのが当たり前でした。その後、ワクチン接種が行われるようになったため、はしかや三日はしかは減少しつつあります。しかしワクチン接種を受けていない方々の間で、流行が繰り返されています。

■はしかの潜伏期間

免疫を持たない人が感染すると、10~12日の潜伏期間を置いて必ず発症します。



■はしかの感染経路

伝播経路は空気感染を主体とし、インフルエンザなどと比べ非常に感染力が強いのが特徴です。

■はしかの症状

初期には発熱や咽頭痛、咳嗽など症状が先行し、インフルエンザとの見極めが困難です。その後、全身に粟粒のような発疹が発生します。はしかになると免疫力の低下が1か月ほど続き、肺炎や髄膜炎などの重篤な合併症を伴う場合があります、最悪の場合死に至ります。

一方、三日はしか(風疹)は、はしかと似た症状が出るのですが、症状が一週間以内に軽快する 경우가多く、重篤化するケースは稀です。

■三日はしかの潜伏期間

潜伏期間は14~21日程度です。

■三日はしかの症状

無症状の場合もあり、自分で気付かないうちに風疹を発症している場合があります。風疹の問題点は、妊娠中に罹患すると、胎児に先天性風疹症候群が発生し、先天性心疾患、聴力障害、白内障をきたすことがあることです。

はしかも三日はしかも、直接ウイルスを攻撃する薬剤はなく、発症した場合は対症療法を行います。どちらもワクチンによる予防が可能な病気です。麻疹のワクチン接種は昭和41年に始まりましたが、任意接種であったため接種率は高くありませんでした。一方、風疹のワクチン接種は昭和52年に女子中学生を対象として開始されました。その後、接種ワクチンや対象年齢の変更が繰り返されたため、ワクチン接種機会のなかった方が抗体を持っていない状態です。昨年の風疹の流行では特に20歳から40歳代の男性が多く罹患しました。

ワクチンには麻疹単独、風疹単独、および麻疹・風疹混合ワクチンの3種類があります。



過去に麻疹や風疹にかかったかどうかの記憶は不確実な場合が多いので、まず、麻疹、風疹それぞれの抗体検査によってワクチン接種の必要性を判断し、抗体価が低い場合は接種を受けてください。

■ワクチン接種後の副反応

麻疹ワクチンの場合	接種後 5～10 日に発熱と発疹が 10～15%の割合で出現します。
風疹ワクチンの場合	(※1)軽度の発疹、リンパ節腫脹などが認められます。
麻疹・風疹混合ワクチンの場合	発熱が 13%、発疹が数%の頻度で報告されています。

(※1)成人女性に接種した場合、子供に比して関節痛を訴える頻度が高いとされます。

既に抗体を持っている人にワクチンを接種したとしても、抗体価がさらに高まるので問題はありません。しかし、昨年の風疹の流行時には深刻なワクチン不足が起こり、子供たちに公費で行う麻疹・風疹混合ワクチンを確保するのも大変という事態が起こりました。本当に必要な人のためにワクチンを確保するためにも、また不要な副反応のリスクを避けるためにも、ぜひ抗体検査を受けてワクチン接種の必要性を調べてください。また、いずれも弱毒化した生きたウィルスを接種する生ワクチンですから、接種時に妊娠していないことが前提となります。接種前に医師とよく相談してください。特に風疹ワクチン、および麻疹・風疹混合ワクチンの場合は接種前 1 か月、接種後 2 か月の避妊が必要となります。

◆当院のワクチン接種について

インフルエンザ以外のワクチン接種は**完全予約制**となります。

まずは内科外来を受診し、ご希望のワクチンにつきご相談ください。また、万一、はしかや三日はしかのような症状が出て受診を希望される場合は、(※2)待合室での感染拡大を防ぐため、必ず事前に病院にご一報下さい。(※2)医師の勤務状況により応需できない場合もございます。

予防接種 料金(※3)実費

(※3)予防接種は下記ワクチンの料金+診察料・抗体検査料のすべてが保険外診療となります。

MR(麻疹・風疹)	10,800 円
麻疹	6,480 円
風疹	6,480 円

小児科医師の退職に伴い、当院では本年 3 月末日をもって小児科の診療を終了いたしました。ワクチン接種を含め、内科外来の診療対象年齢は高校生以上です。

■はしかについて詳しくは下記のホームページをご参照ください。

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/>

東京都感染症情報センター

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>



春深く、新緑に心躍るこの頃、皆様を思い迷わせる便りが届くのではないのでしょうか。

気に掛りながらも置いたままに時が過ぎてしまって、とのお声多数、そう【区の健診、がん検診のご案内】です。

是非一度、当院健診担当者、或いは外来に受診され、ご相談ください。

区の健診、がん検診に申し込まなくとも、内視鏡検査を受けて頂くことは可能です。

皆、病気にかかることは怖い、でも病院にかかるという初めの一步自体が踏み出せず、病気が進行してしまうこともあります。



「もう少し早く内視鏡検査を受けて頂けていたら…」と日々感じている私達スタッフの想いにごうか耳を傾けて頂けましたらと思います。

近年、めまぐるしく発達する医療の中で、内視鏡医療の担う責任と期待、可能性は非常に大きく、健診・救急→処置・治療→手術→経過観察、そして栄養管理・緩和まで、患者様に最善の選択肢を提供し、様々な局面で常に寄りそうことのできる有効な手段です。例えば…



- ① 誤って飲み込んでしまった物の除去
- ② 消化管(胃、十二指腸、大腸等)出血の止血
- ③ ポリープの切除
- ④ 癌の切除
- ⑤ 胆石の除去
- ⑥ 病気の炎症で狭くなった部位にステント(管)を留置 etc.

◆気管支、食道、胃、十二指腸、大腸、胆管等、あらゆる部位の病気に対し、内視鏡を用いて治療が可能です。

今年こそ検査を受けましょう！



《内視鏡検査》と聞いてどう想像しますか?「とても苦しそうだし、絶対受けたくない」と思われる方、既に辛い経験をしたという方が大半ではないのでしょうか。

「そんなイメージを一掃したい!」と我々内視鏡チームのスタッフは強く願って毎日仕事をしています。

当院の検査は経験豊かで内視鏡検査を得意とする熟練の専門医が鎮静剤(緊張を取り除き、胃腸の動きを和らげる)を併用して行いますので、驚くほど苦痛が少なく終わるのです。

チームの看護師は全員消化器内視鏡技師という専門資格をもっており、明るく、優しく、温かく、患者様をお迎えしております。

消化器内視鏡技師とは、消化器内視鏡検査・治療の介助、補助業務に携わり、消化器内視鏡診療に関わる前処置、洗浄・消毒、機器管理、検査・治療の介助等全般にわたり、高い専門的知識と技術を有する現在の内視鏡診療において必要不可欠の存在です。また、当院の内視鏡システムは最新のオリンパスエリート290シリーズを採用しており、非常に精度の高い画像をもって診断をすることができます。

スコープは各検査毎に、手洗浄+洗浄機にかけ、高水準洗浄を行っておりますので、安心して検査を受けて頂けることと思います。興味が出てきたけれど、まだ不安を感じられるという方は、是非一度内視鏡チームに逢いにいらして下さい!

小さな疑問、不安、心配を一つ一つ解決し、安心して検査を受けて頂けるよう心を込めて対応させていただきます。

今年こそ、ご自身の為、ご家族の為、大切な一步を踏み出してはみませんか。

地域の皆様にとって、田園調布中央病院内視鏡室が、そして内視鏡検査が、より身近なものとなりますように。

